第5章 みんなで考え みんなでつくる村づくり

第1節 住民参加の村づくり

基本計画

① 広報紙「広報つきがた」の充実
村の広報紙の機能を高め、より新しい企画編集を行う。

② 防災行政無線の充実
直接村民に行政内容の周知が可能である防災行政無線を使用し、常に新しい情報提供を行っていく。

③ 広聴機会の充実
村民の意見要望を行政に生かすための懇談会、住民アンケートなどの回数を増やすように検討を進めるほか、情報公開制度についても研究を進めて行く。

第2節 行政運営の合理化

基本計画

① 行政組織の機構の適正化
多様化する行政需要に対応し、効果的な行政運営を推進するため事務・事業の見直しや行政改革に努める。

② 職員の研修、資質の充実
多様化する行政需要に対応し、職員の研修などによる能力開発と経営の養成を図り、職員の事務・事業に応じた適正な配置及び服務規則の確立と資質向上に努める。

③ 長期的な財政計画の策定
各種住民の行政需要に対応するためのプロジェクトチームによる企画調整機能の強化を図り、事務・事業の見直しなどに加えてOA化について検討を進め、財政の健全化を堅持していくための長期的な財政計画の策定を進め、効率的な財政運営に努める。

第3節 広域行政

基本計画

関係構成団体と協議・連携を図りながら、各市町村の特性を生かせる機能分担を図り、事務・事業の共同化、広域的な交通網の整備、施設などの調和のとれた広域行政を推進していく。

この計画の策定にあたり、去年七月に住民アンケートを三百人（無作為に選んだ二十歳以上）の人からお願いしました。ここで、その中の意見・要望を一部ご紹介します。

◆意見・要望◆

○大人も子供も安心出来る憩いの場、森林公園などは夢でしょうか。子供をとりまく環境にもう少し目を向けてほしい。

○将来、笹川先生引退後、無医村にならないよう、若い医師が来れるような受け入れ体制をつくる。

○大別当の児童遊園とゲートボール場は別にするべきだ。

○村の行事への若者の参加増進計画を。

○病院・高校などが欲しい。

○人口の割に、土地が高い。

○保育所では、永年保母が変わらず年齢も上がるにつれ、保育内容が漫然となる気がします。

○防犯（盗難・暴走族）の取り締りの強化を。

○歩道の整備、東部用水路沿いなどでのネット類の危険防止の整備を。

○水洗トイレの増加で悪臭が気になる。

○村をあげて下水道の本格的整備に取り組んでほしい。

○交通の不便さの改善を願う。

○住民中心の行政をする。

○教育委員は、先生あがりだけでなく、実際の小・中学生の親を加える。

○農業委員の推薦は、若い未経験者を推薦して、担い手を育てていく。

○水洗トイレの普及に対して、村は低金利で融資制度を設置してほしい。

○民生委員とは、何をしているのか。

○自動車の保有者が増加しているので、小路を整備して頂きたい。

○住宅地域の果樹園の早期消毒（防除）は、時間を遅らせてほしい。

○減反政策による農業収入の減少の改善。

○西萱場・曲通で団地が多くなっているので、村でスーパーをつくって。

○中小企業が出来れば、村外勤務は多少なり防げると思う。

○家の近くの工場で悪臭のする薬を使っているようで、体に害があるかと心配です。

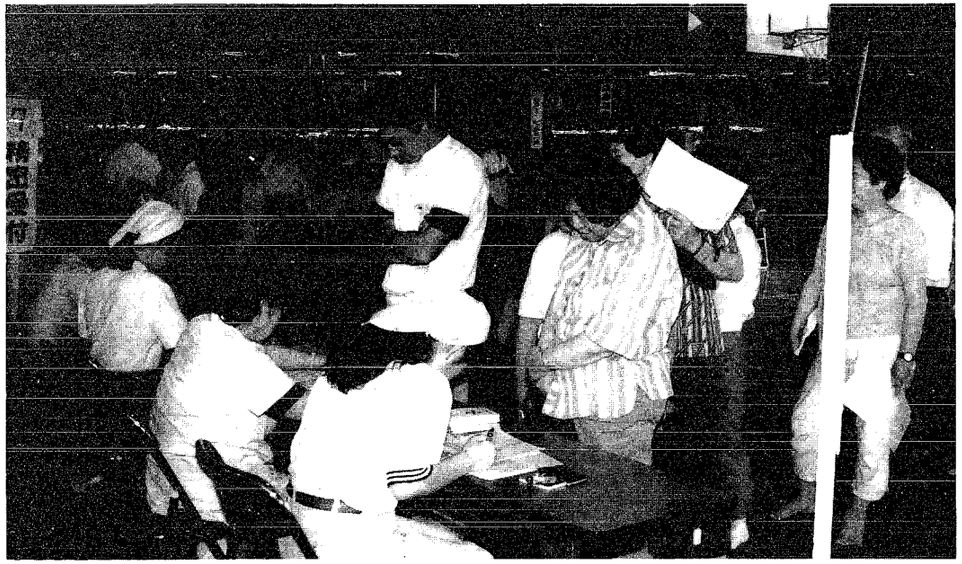
○工業も商業もと欲ばらず、狭い村なので、何か一本にしぼって発展させるべきだ。

○自然を生かして子供たちのために、伸び伸びとした広場か何かをつくってほしい。

○高齢者が多いため封建的な因習があるので、もっと若者の意見を取り入れ、伸び伸びとした雰囲気の村になると良い。

○村の利点、平らな大地、おいしい米などを生かした発展をセールスに利用してほしい。

多くの意見・要望をふまえて、みなさんのための村づくりに努力していきます。ご協力を心からお願いします。



健康は心と体の調和から

年1回、家族みんなで検診を……

平成3年度〝総合検診〟

●6月12日(水) 西公民館
午前9時～午後3時30分まで

●6月13日(木) 月潟小学校
午前9時～午後3時30分まで

今年も、右記の日程で総合検診が行われます。

特に初期症状があらわれにくい成人病は、この検診を受けることで〝早期発見〟が出来て、早期治療につながります。

そのために、検診内容も充実し、あらゆる角度からみなさんの体のチェックが可能となっています。

◆総合検診内容◆

❶身体計測（肥満度チェック）
❷尿検査（腎臓病・糖尿病のチェック）
❸血圧測定（高血圧・低血圧のチェック）
❹血液検査
(1)高脂血症（総コレステロールのチェック）
(2)肝障害（GOT・GPTのチェック）
(3)貧血（ヘモグロビン・ヘマトリット・赤血球数のチェック）
❺心電図検査（心臓障害のチェック）
❻眼底検査（高血圧・動脈硬化のチェック）

また、この総合検診を受けた四十歳から六十九歳までの人は、肺がん・大腸がん検診が受けることが出来ます。

緑の羽根募金

目標額を達成しました

平成三年度の〝緑の羽根募金〟が、四月一日から三十日までの間実施されました。

この募金は、学校・福祉施設及び公園・公共施設などの緑化を実施しながら、地域ぐるみの緑化運動に大きな成果をあげています。

村では、目標額を九万円として募金活動を行って、目標額を上回ることができました。

みなさまに、厚くお礼申し上げます。

大別当	一〇、四〇〇円
月潟	三五、二〇〇円
西萱場	九、三〇〇円
上曲通	一二、五〇〇円
下曲通	六、一四〇円
東長島	四、七〇〇円
木滑	九、〇八一円
釣寄	五、一五〇円
釣寄新	一、五〇〇円
役場	六、三八五円
目標額	九〇、〇〇〇円
合計	一〇一、三五六円